河川環境情報図　（区間図：-2.0～-0.2k）

河口干潟

庄内川河口干潟は、隣接する藤前干潟と相まって国内最大級のシギ、チドリ類の渡来地として、ラムサール条約湿地に登録されている。

庄内川河口部

・河口干潟、ヨシ原

場所：河口～大当郎橋付近　（-2.0～1.0k付近）

集約意見主旨	■治水対策 ◇堤防の強度が心配、安全性を高めるべき。(4) ◇清水・水質の防止と干潟の保全の両立を。(3) ◇土砂の堆積が心配。(2) ◇干潟の保全よりも安全性を重視すべき。 ◇区画整理に伴う田の減少により水害の拡大が心配。 ■水辺利用 ◇子供などが安全に環境学習や自然観察できるビオトープや花畑、野鳥観察館などの場があると良い。(3) ■水辺へのアクセス ◇駐車する場所が無く、水辺にアクセスしにくい。車で川に行きやすくなると良い。(2)
文末の（数字）は意見数	

※コレカラボイスその２より

凡例

＜河川整備計画＞

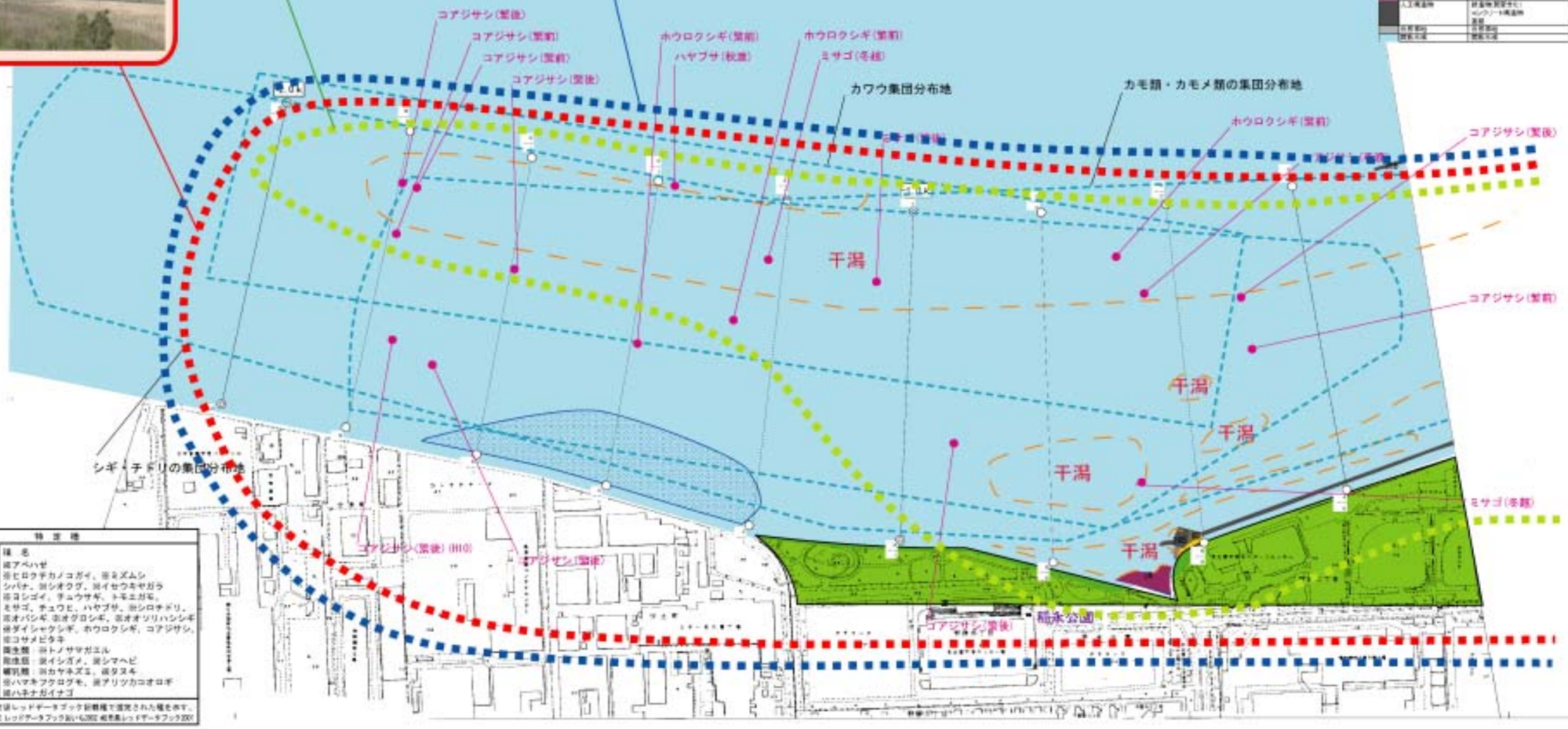
自然環境に配慮すべき箇所

景観に配慮すべき箇所

代表的な場所：
ヨシ原が広がる河口部の風景／金城埠頭から見た導流堤／藤前干潟／稲永公園

提案の内容	・ビューポイント（見晴らしのいい場所）を、川の見所として整備する ・旧堀川との結節点や川と道が交差する機会のために「川の一集落」など小広場を整備する ・川の魅力と歴史資源ガイドマップを作成する ・生態系の拠点を核に「緑・水路・池・湿地・水田」のネットワークを形成する ・市民、学校、行政で協働して育む水辺拠点を流域に増やしていく ・ゴミのないきれいな川づくりを進める（個別のアイディア） ・干潟がない切に落をつくって、アユの稚魚の生息地を確保・整備したい。（稲永公園など）

※土岐川庄内川市民意見交換会提言より



特定種

種類	調査地点	種名
魚類	1.1～2.0k	図アベハゼ
底生動物	2.8～3.4k	※ヒロクチカノコガイ、※ミズムシ
植物	-0.1～2.6k	シバナ、※シオクグ、※イセウキヤガラ
鳥類	-0～3.4k	※ヨシゴイ、チュウサギ、トモエガモ、ミサゴ、チュウヒ、ハヤブサ、※シロチドリ、※オバシギ、※オグロシギ、※オオソリハシシギ、※ダイシャクシギ、ホウロクシギ、コアジサシ、※コサメビタキ
小動物	2.2k	陸生類：※トノサマガエル 陸生昆：※イシガメ、※シマヘビ 哺乳類：※カヤネズミ、※タヌキ
昆虫	2.2k	※ハマネフクログモ、※アリツカコオロギ ※ハネナガイナゴ

表中の※印はなごやの地方版レッドデータブック新戦略で選定された種を示す。
名古屋市地レッドリスト2002 レッドデータブックあいち2002 愛知県レッドデータブック2001

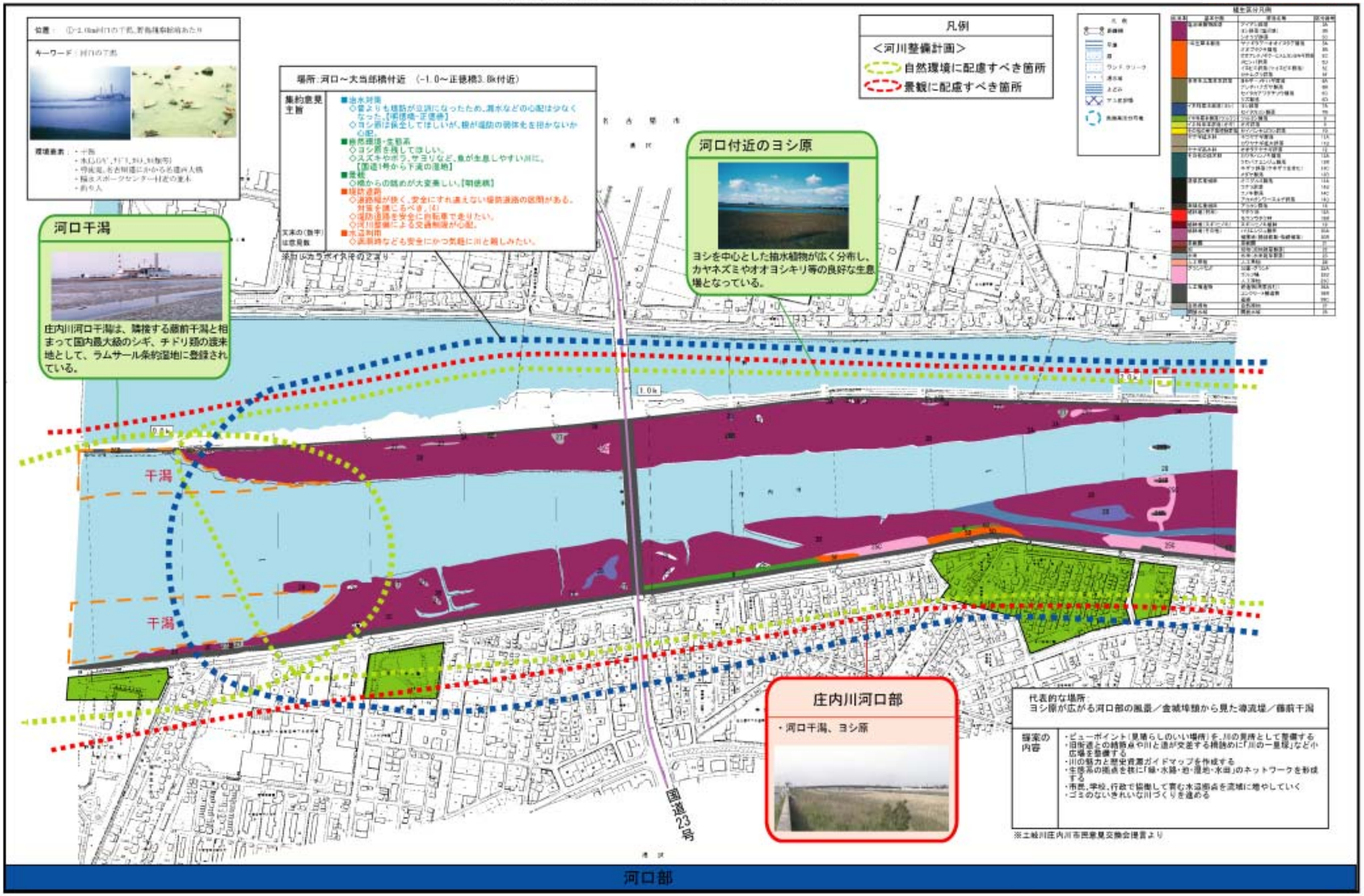
植生区分凡例

外来種	基本分類	群落名等	区分番号
	塩沼湿地植生	アイアシ群落	3A
		ヨシ群落（塩沼地）	3B
		シオクグ群落	3C
	一年生草本群落	ヤナギタデ－オオイヌタデ群落	6A
		オオオナモミ群落	6B
		オオアレチノギク－ヒメムカシヨモギ群落	6C
		メハジキ群落	6D
		イヌビエ群落（ケイヌビエ群落）	6E
		ハルシダ群落	6F
	多年生広葉草本群落	ヨシ－ススキ－ハマウド群落	9A
		フレンドハナガサ群落	9B
		セイタカアワダチソウ群落	9C
		ハギ群落	9D
	ツキ科草本群落（ヨシ）	ヨシ群落	7A
		セイタカヨシ群落	7D
	代謝型草本群落（ツルヨシ）	ツルヨシ群落	8
	代謝型草本群落（オオヨ）	オオヨ群落	9
	代謝型草本群落群落	セーコンレッキロン群落	13
	ツキ科植生	ヨシ－ツキ群落	11A
		ハコヤナギ－ツキ群落	11B
	ツキ科植生群落	ツキ－ヤナギ－ツキ群落	12
	木本植生群落	ハコヤナギ－ハンノキ群落	13A
		ヒロハハンノキ－ヨシ群落	13B
		ヤナギ植生（ヤナギ－ツキ植生）	13C
		メタセコイア群落	13D
	常緑広葉樹林	ヤブツバキ群落	14A
		ウバメガシ群落	14B
		ウバメガシ群落	14C
		アカメガシワ－ムクノキ群落	14D
	落葉広葉樹林	アカメガシ群落	15
	落葉樹－平面	シラカシ林	16A
		ヤブツバキ林	16B
	落葉樹（エチャンテ）	エチャンテ－ヤブツバキ群落	17
	落葉樹－平面	ハリエンジュ林群	20A
		植栽林（常緑樹林－針葉樹林）	20B
	樹園地	果樹園	21
	畑	畑地（果菜類等畑地）	22
	田畑	田畑（水田畑等畑地）	23
	人工裸地	人工裸地	24
	グランド等	公園・グランド	25A
		ゴルフ場	25B
		人工芝地	25C
	人工構造物	鉄骨構造物（テント）	26A
		コンクリート構造物	26B
		道路	26C
	市街地	市街地	27
	開放水域	開放水域	28

河口部

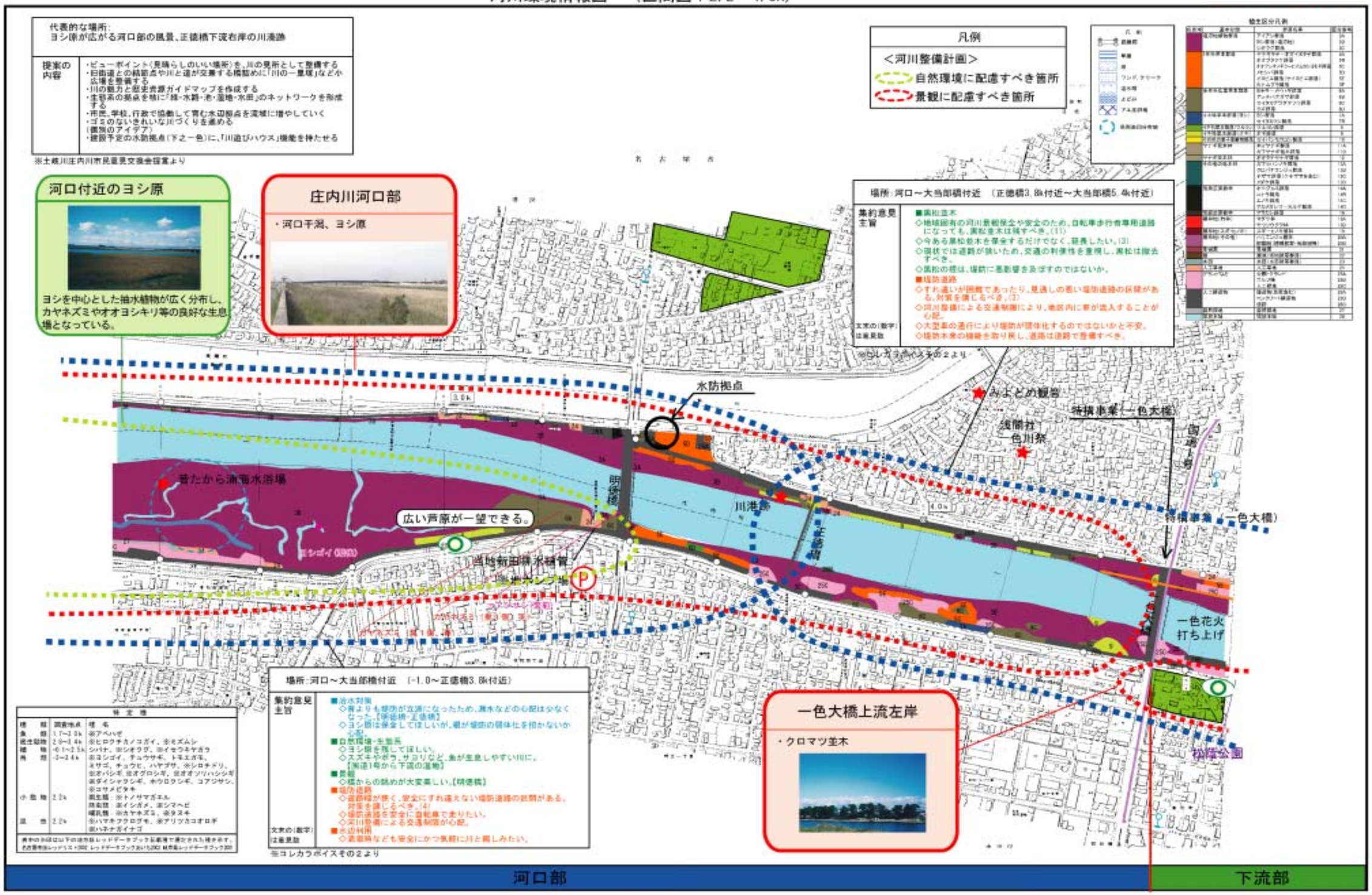
01

河川環境情報図　（区間図：-0.4～2.2k）



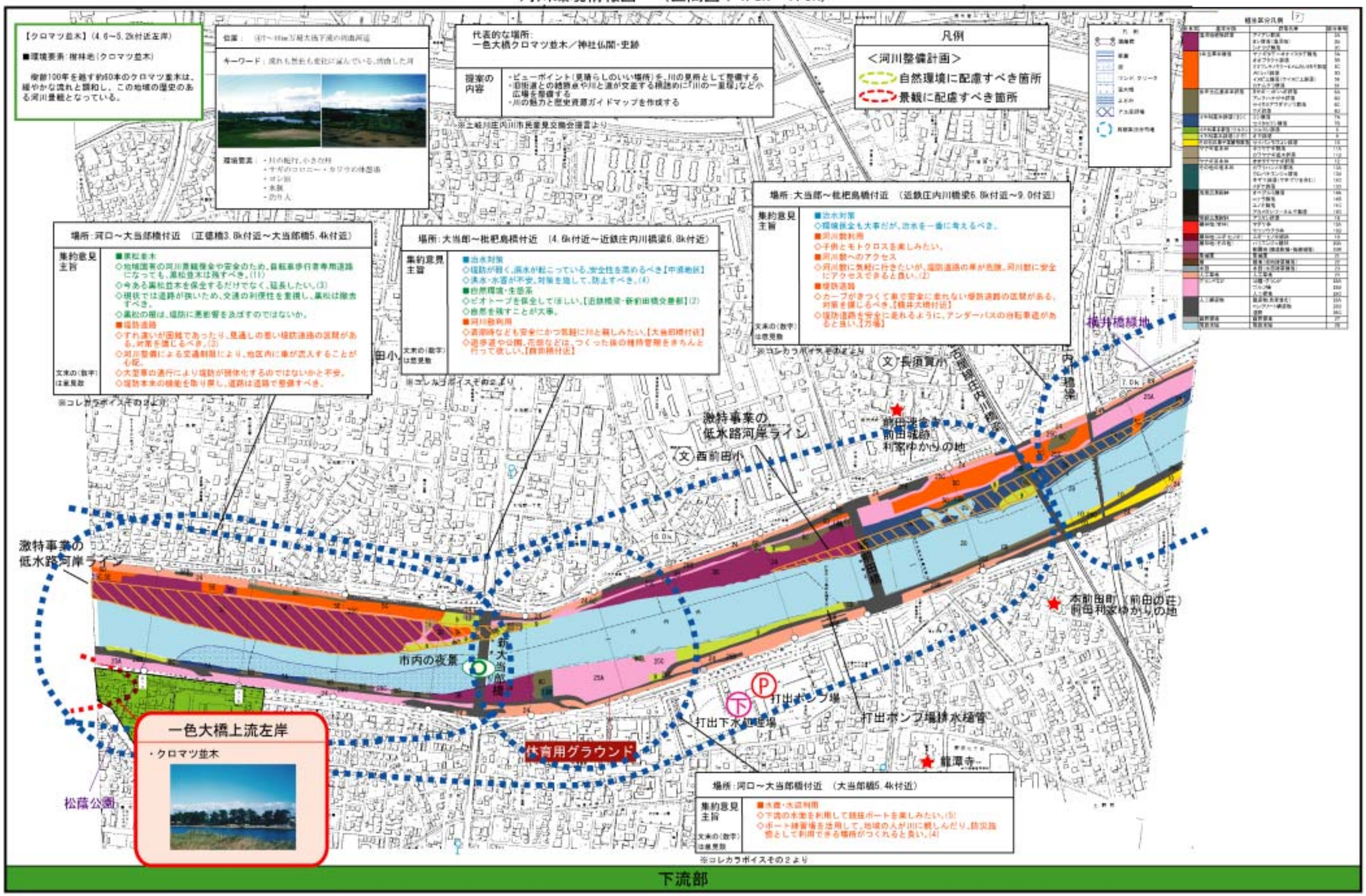
02

河川環境情報図　（区間図：2.2～4.6k）



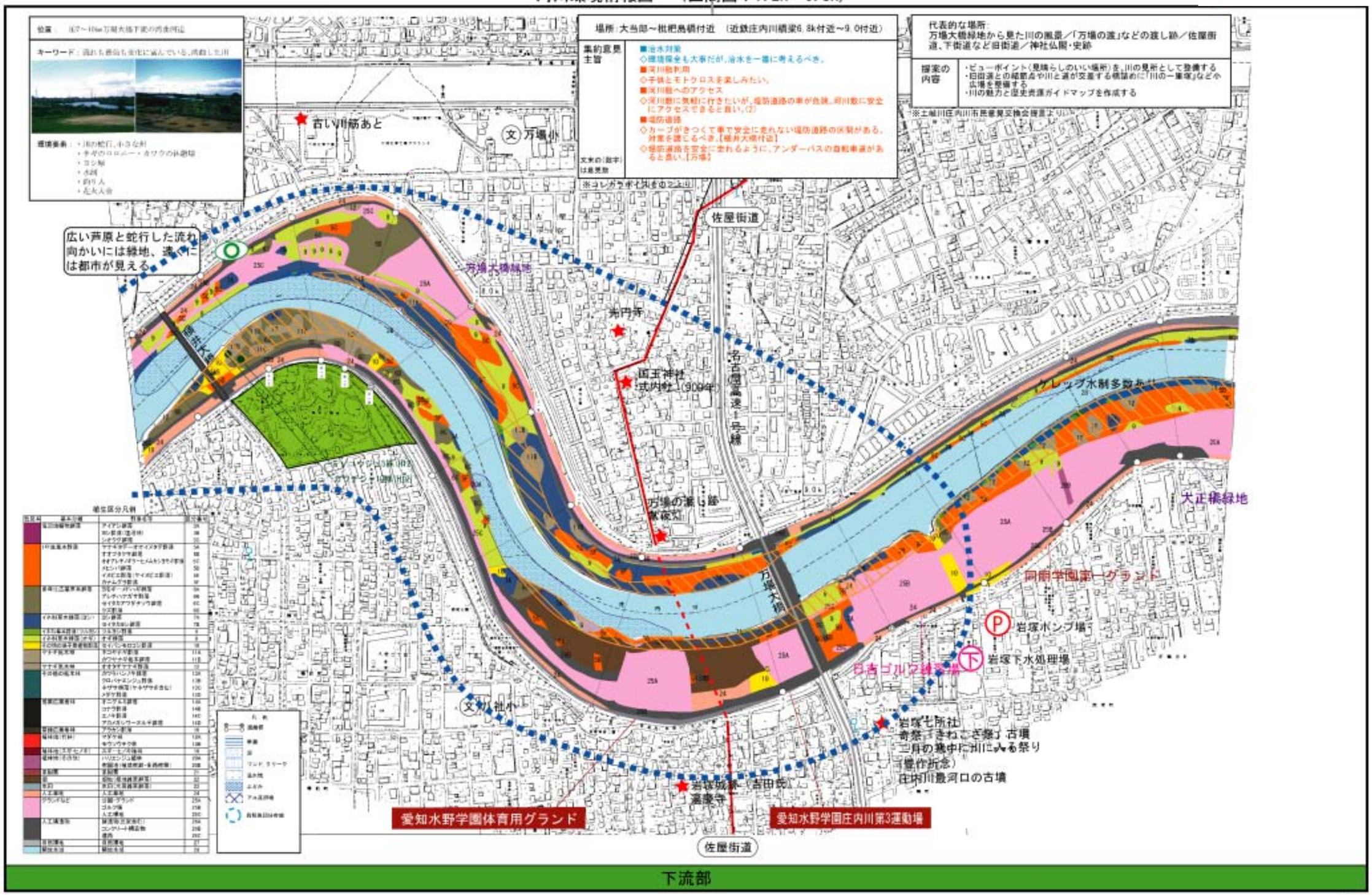
03

河川環境情報図　（区間図：4.8k～7.0k）



04

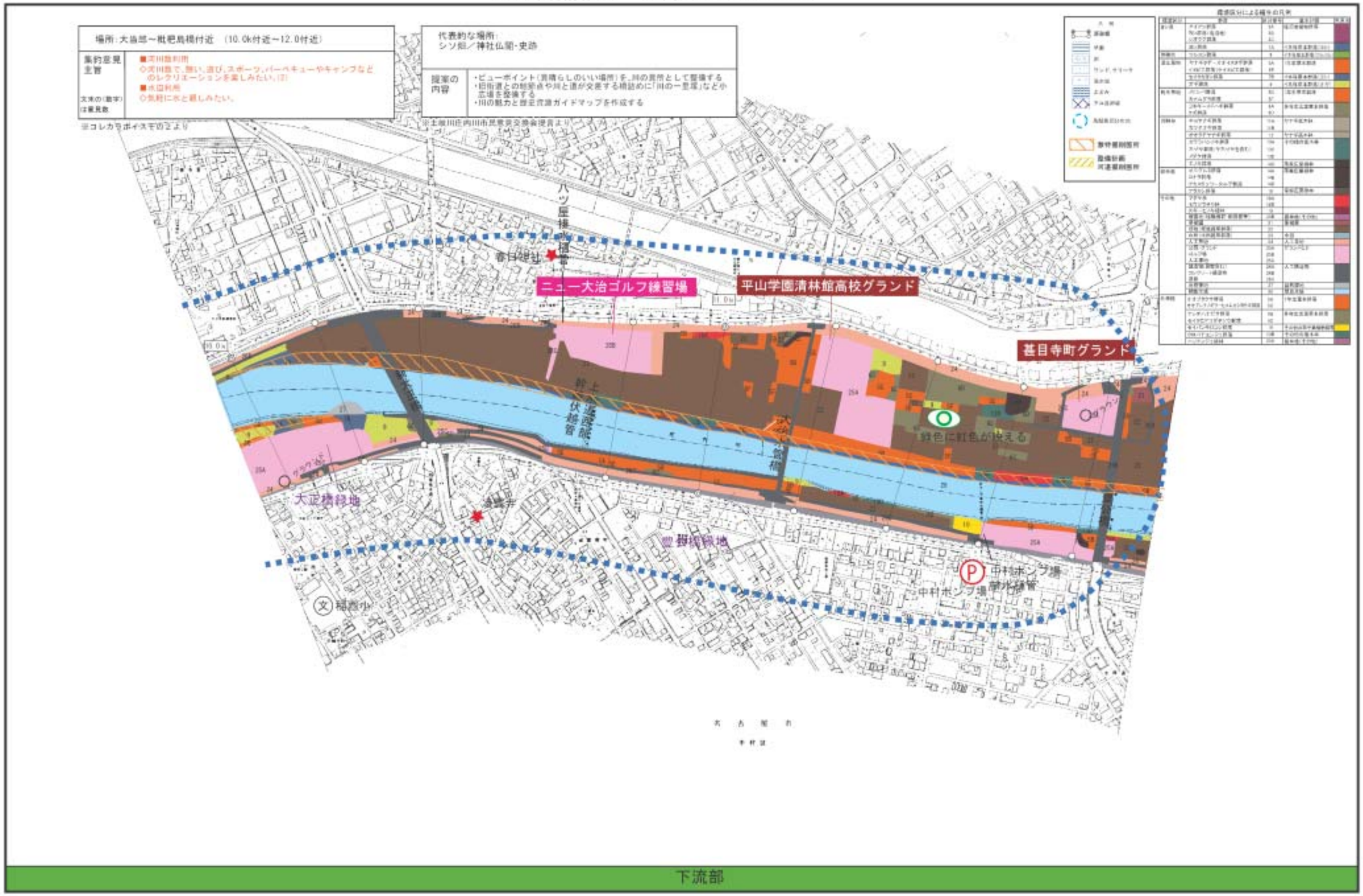
河川環境情報図　（区間図：7.2k～9.8k）



下流部

05

河川環境情報図　（区間図：10.0k～11.8k）



下流部

06

河川環境情報図　（区間図：12.0k～14.0k）

代表的な場所：
シソ畑／庄内川らしい樹木：ムクノキ、エノキ、アキニレなど／神社仏閣・史跡／水防拠点（枇杷島）に、「川遊びハウス」機能を持たせる

提案の内容	・ビューポイント（見晴らしのいい場所）を、川の見所として整備する ・旧街道との結節点や川と道が交差する機能めに「川の一里塚」など小広場を整備する ・川の魅力と歴史資源ガイドマップを作成する ・下流に「川遊びハウス」を設ける

※土岐川庄内川市民意見交換会提言より

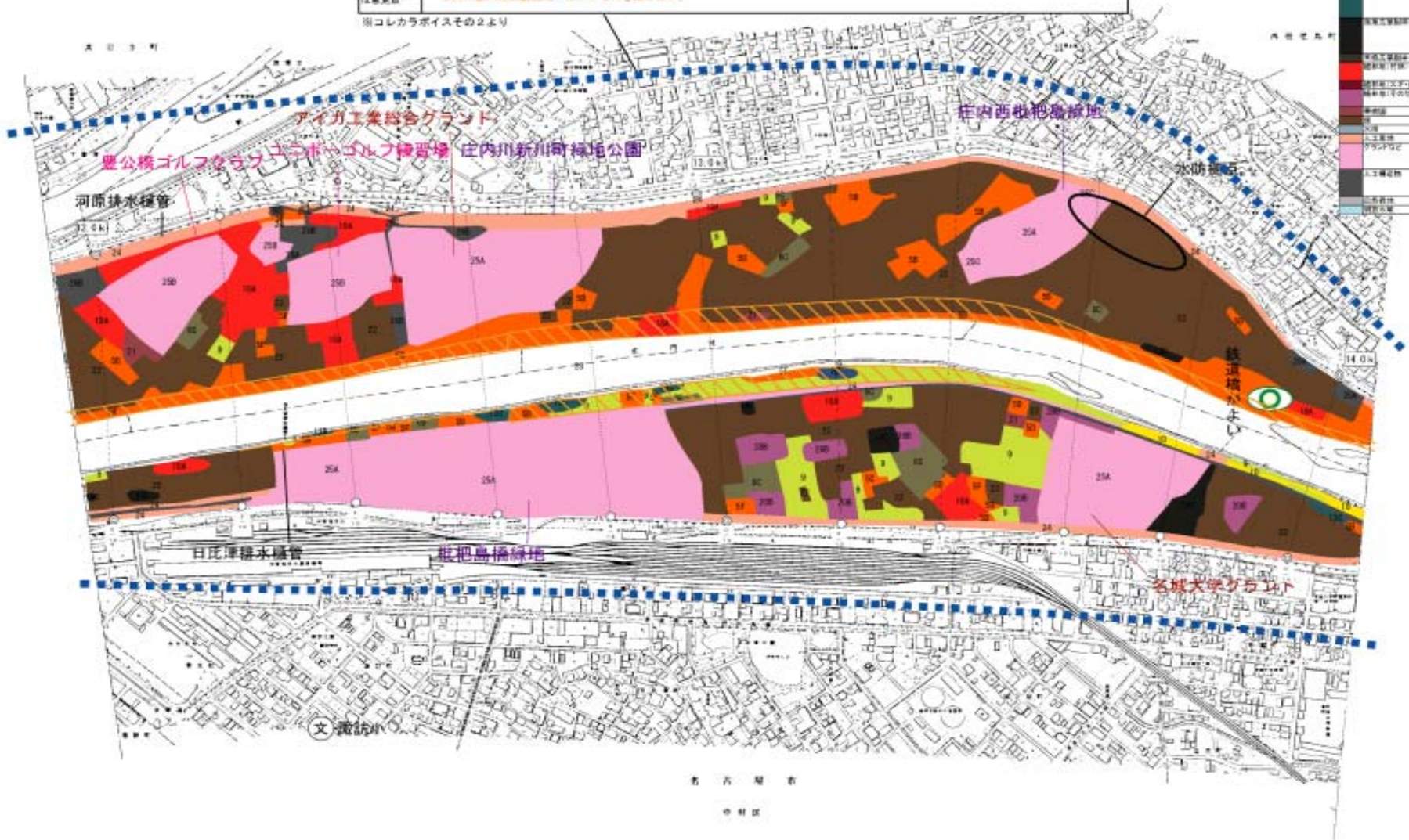
場所：大当郎～枇杷島橋付近　（豊公橋12.k付近～枇杷島橋（JR東海道本線）14.2付近）

集約意見主旨

■治水対策
◇洪水・水害が不安。対策を施して、防止すべき。（2）
■生態系
◇キジの産卵場所を守り、より親みやすい環境に。【豊公橋～東海道本線橋梁】
■河川敷利用
◇河川敷で、語い、遊び、スポーツ、バーベキューやキャンプなどのレクリエーションを楽しみたい。（6）
◇川辺いで安全に、語い、散策したい。（3）
◇河川敷で野菜づくりを楽しみたい。（3）
◇河川を生かした、花火大会やソフトボール大会などのイベントが楽しみ。（7）
◇河川敷で犬を心配せずに子供が遊べるようになるとよい。
◇河川敷内の公園緑地へのアクセスを良したい。
■水辺利用
◇気軽に水を親しみたい。（4）
◇気軽に水を親しみたい。
◇水に近づきにくい。気軽に水辺にアクセスでき、水をふれあえると良い。
◇人工的ではなく、川のせせらぎを感じられる現状を維持したい。
■堤防道路
◇堤防道路の交通量が多いため、騒音や排気ガスがひどい。堤防の下に道路を通せば対策になるのではないか。【枇杷島下流左岸】

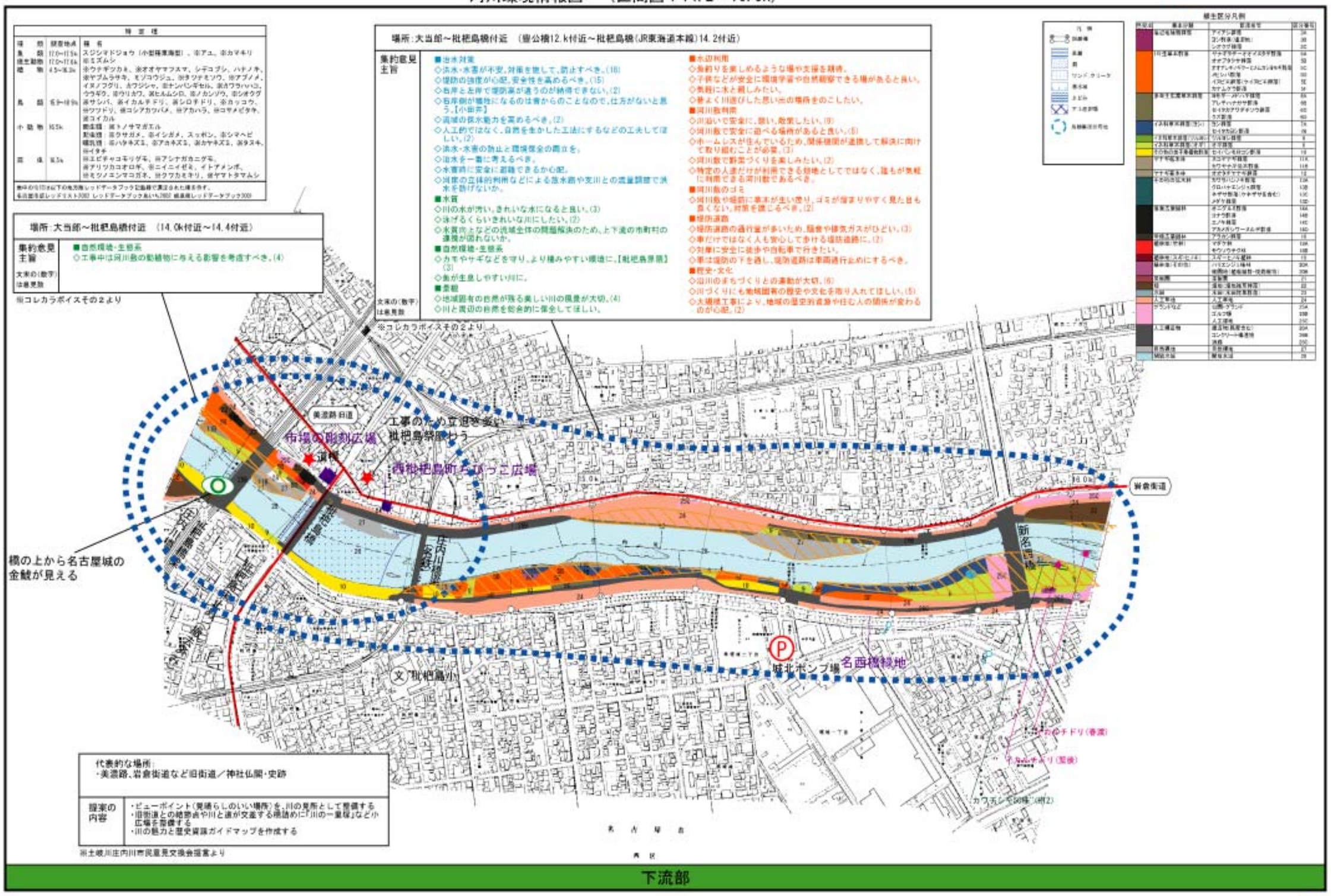
文末の（数字）は意見数

※コレカラボイスその２より



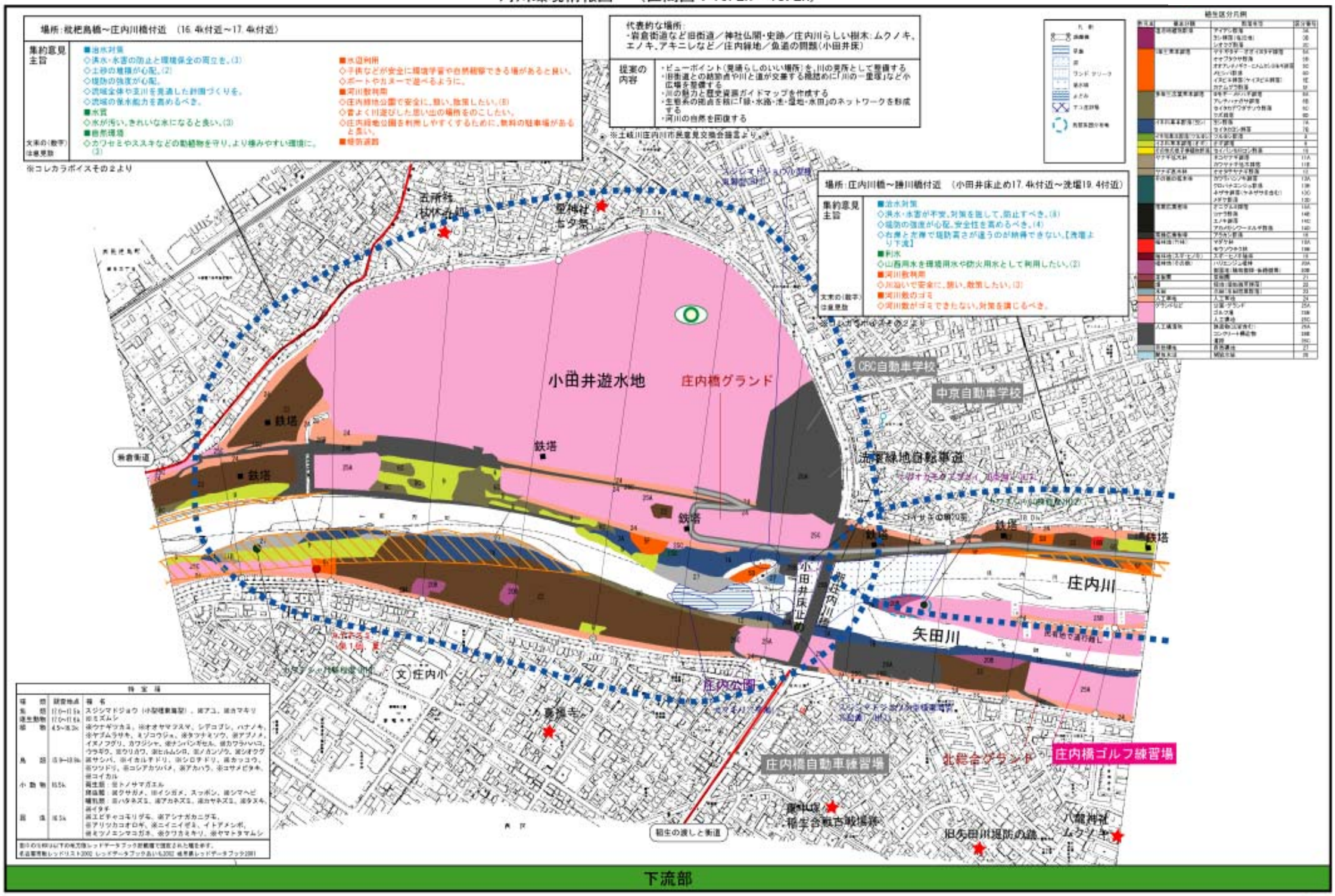
下流部

河川環境情報図　（区間図：14.2～16.0k）

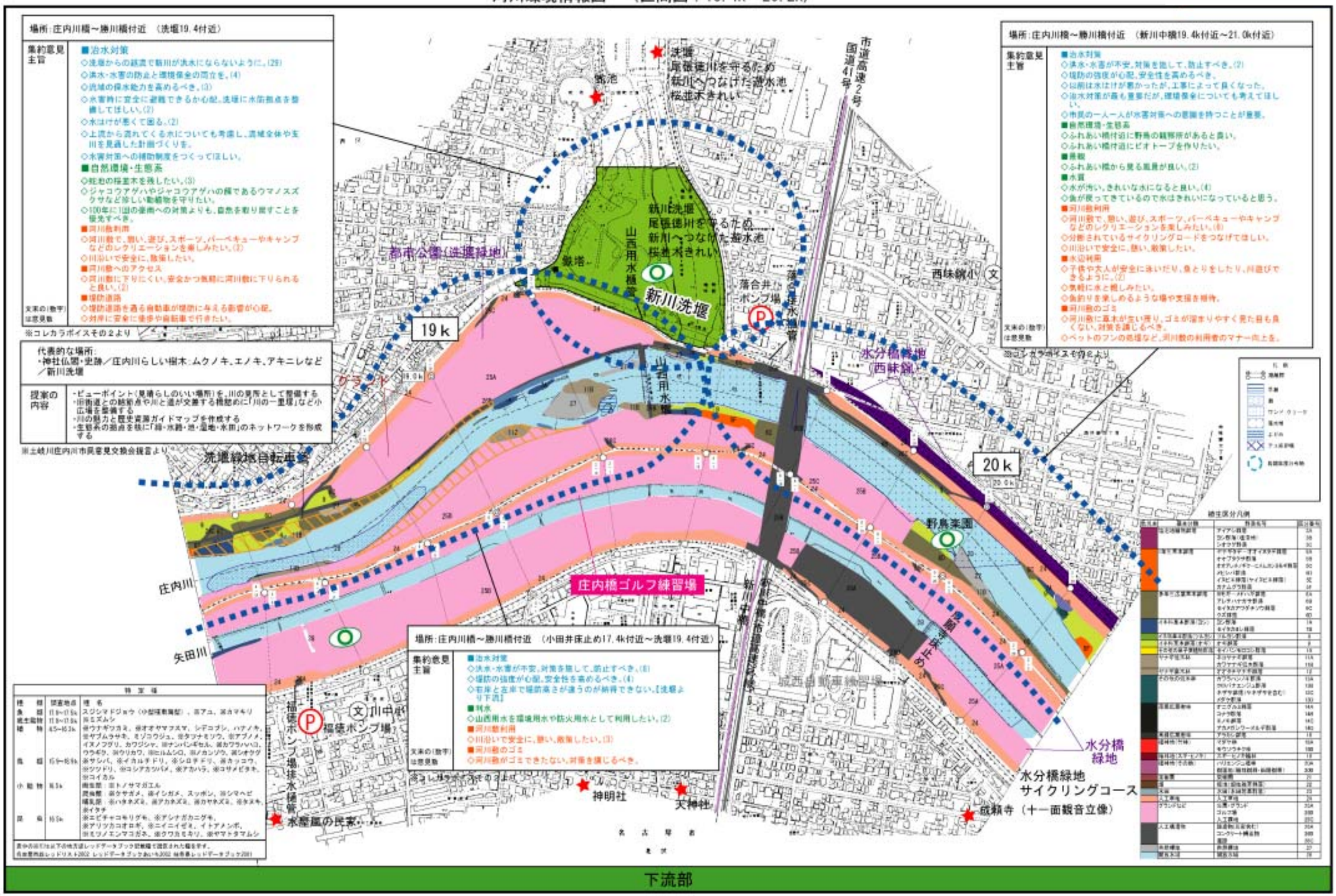


08

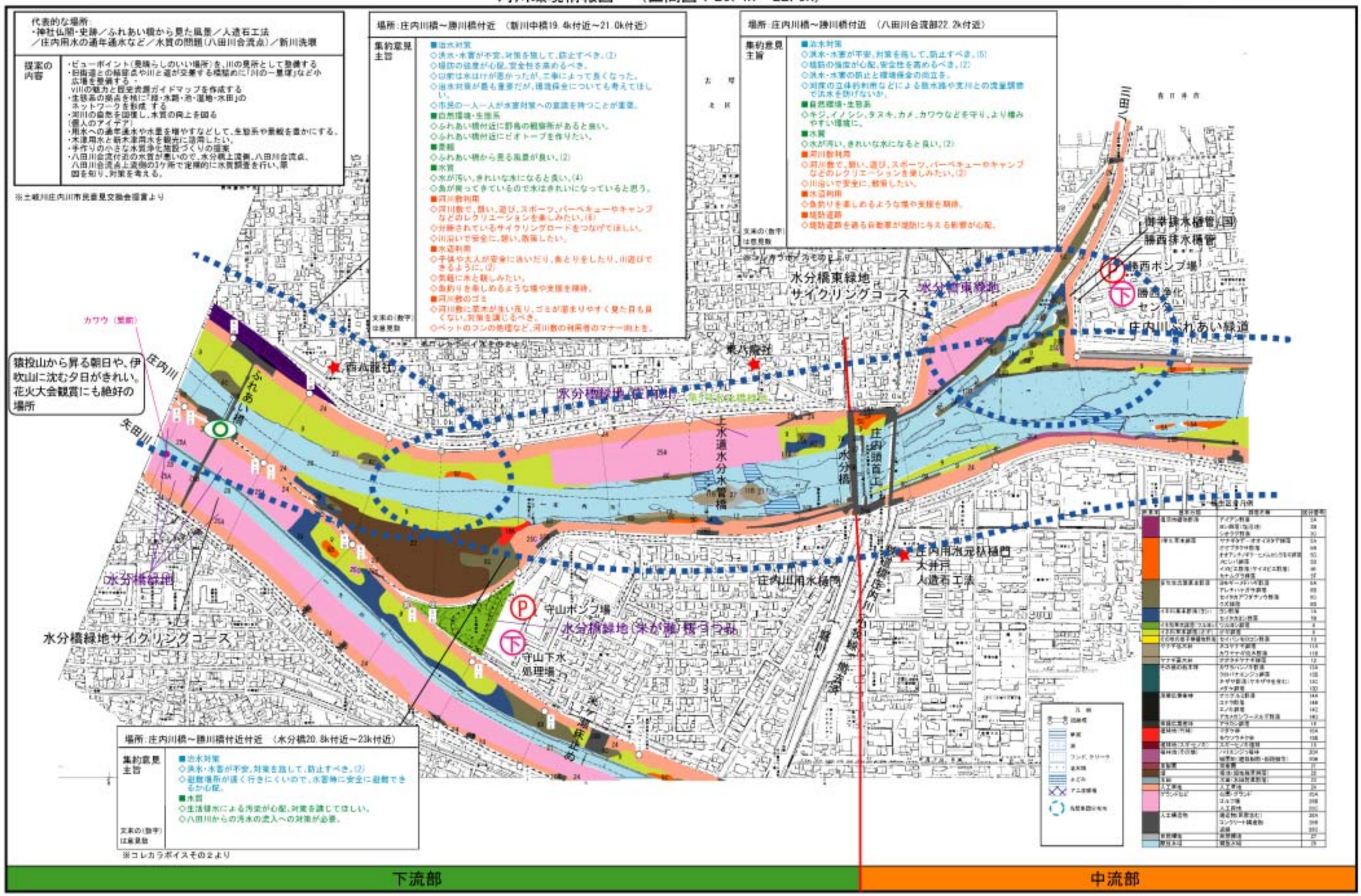
河川環境情報図　（区間図：16.2k～18.2k）



河川環境情報図　（区間図：18.4k～20.2k）



河川環境情報図　（区間図：20.4k～22.6k）



河川環境情報図　（区間図：22.8k～25.0k）

代表的な場所： 大留から桜佐、勝川橋にかけてのダイナミックな川の景観 ／神社仏閣・史跡	
提案の内容	・ビューポイント（見晴らしのいい場所）を、川の見所として整備する ・旧街道との結節点や川と道が交差する箇所のに「川の一里塚」など小広場を整備する ・川の魅力と歴史資源ガイドマップを作成する

※土岐川庄内川市民意見交換会報告より

凡例

＜河川整備計画＞

自然環境に配慮すべき箇所

景観に配慮すべき箇所

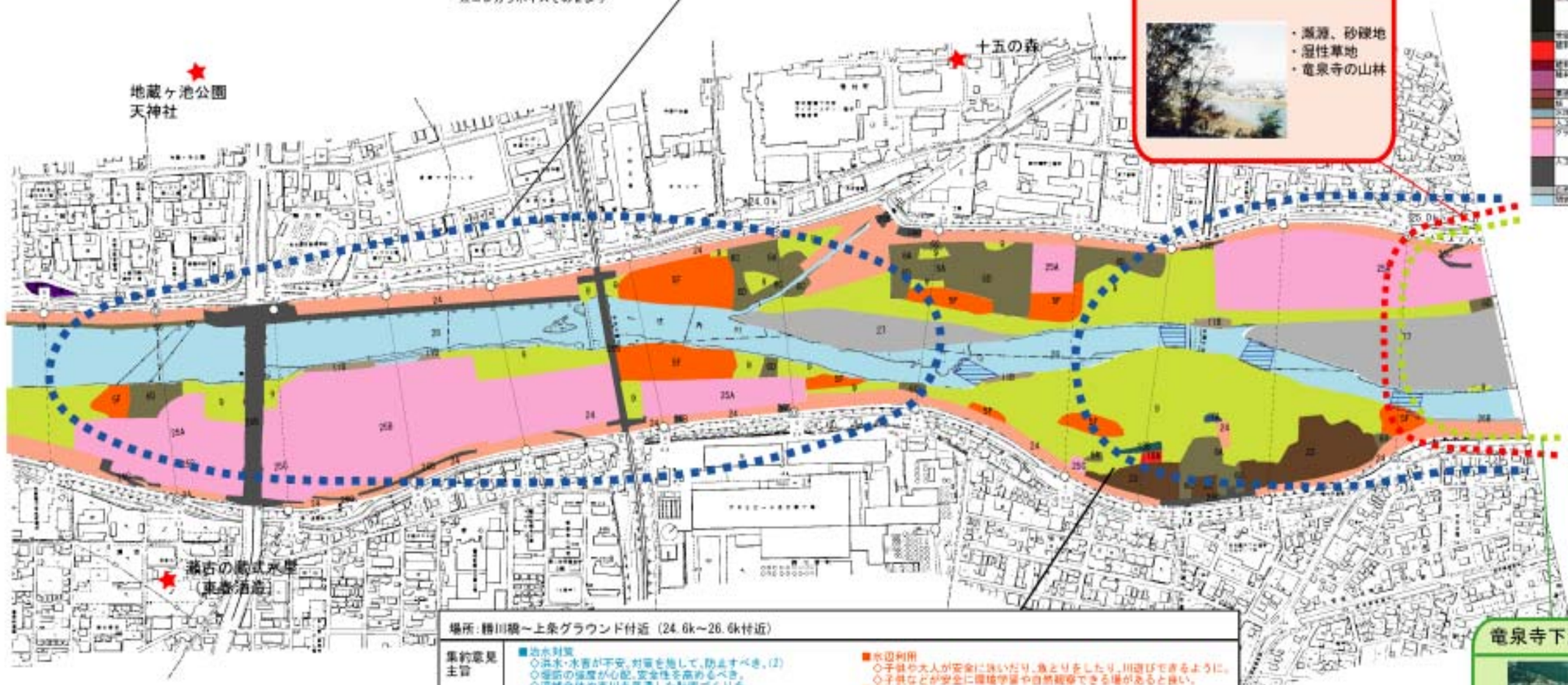
植生区分凡例

植生区分	植生内容	群落名称	区分番号
塩沼性植物群落		アイアシ群落	3A
		ヨシ群落（塩沼地）	3B
		シオクイ群落	3C
1年生草本群落		ツルヨシ－ナガミノツルキ群落	5A
		オオブタクサ群落	5B
		オオアレチノギク－ヒメムカシヨモギ群落	5C
		ハルシバ群落	6D
		イタビエ群落（ケイヌビエ群落）	5E
		ホテムグラ群落	6F
多年生広葉草本群落		ヨモギ－メドハギ群落	6A
		アレチハナガサ群落	6B
		セイタカアワダチソウ群落	6C
		クズ群落	6D
イネ科草本群落（刈り）		芝生群落	7A
		ティフトン群落	7B
イネ科草本群落（つる性）		ツル性イネ群落	8
イネ科草本群落（まき）		マキ群落	9
その他草本・木本植物群落		ヨメハギ－ヒロコン群落	10
ヤナギ低木林		エゾヤナギ群落	11A
		カワヤナギ低木林群落	11B
ヤシ等亜高木林		ナツヤシ－ヤシ等群落	12
その他広葉木林		カワラハンノキ群落	13A
		クロマツ－エンジュ群落	13B
		ネザサ群落（ケネザサを含む）	13C
		メダケ群落	13D
常緑針葉樹林		オニグルミ群落	14A
		コナラ群落	14B
		エノキ群落	14C
		アカメガシワ－ヌルデ群落	14D
常緑広葉樹林		ナラ枯れ群落	15
植栽樹（針葉）		マツ林	16A
		キウンヒバ林	16B
植栽樹（スギ・ヒノキ）		スギ－ヒノキ植栽	17
植栽樹（その他）		ハリエンジュ植林	20A
		街路樹（植栽施設・都市緑地）	20B
果樹園		果樹園	21
畑		畑地（畑地放棄地）	22
水田		水田（水田放棄地）	23
人工裸地		人工裸地	24
グラウンド等		公園・グランド	25A
		ゴルフ場	25B
		人工芝場	25C
人工構造物		建築物（商業施設）	26A
		コンクリート構造物	26B
		道路	26C
広芝草地		広芝草地	27
開放水域		開放水域	28

場所：勝川橋～上条グラウンド付近　（22.8k～24.2k付近）

集約意見主旨	■自然環境・生態系 ◇メダカ、ホタル、チョウ、カワセミや野鳥などの動植物を守り、より親みやすい環境に。 ■水辺利用 ◇子供や大人が安全に泳いだり、魚とりをしたり、川遊びできるように。 ◇水に近づきにくい。気軽に水辺にアクセスでき、水とふれあえると良い。 ◇人工的ではなく、自然を生かした水辺が良い。 ■河川敷利用 ◇子供が安全に自然とふれあえる河川敷がよい。(2)
文末の（数字）は意見数	

※コレカラボイスその2より



竜泉寺下流付近

・瀬淵、砂礫地
・湿性草地
・竜泉寺の山林

場所：勝川橋～上条グラウンド付近　（24.6k～26.6k付近）

集約意見主旨	■治水対策 ◇井水・水害が不安、対策を施して、防止すべき。(2) ◇堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。 ◇流域全体や支川を見通した計画づくりを。 ■水質 ◇水が汚い。きれいな水になると良い。 ■自然環境・生態系 ◇ヨシ原を残してほしい。【松川橋-竜泉寺】 ■景観 ◇地域固有の風景を大切に。 ■河川敷利用 ◇河川敷で、憩い、遊び、スポーツ、バーベキューやキャンプなどのレクリエーションを楽しみたい。(5) ◇現在草が生い茂っている川辺が公園などの遊べる場になるとうれしい。(2) ◇川辺いを安全に、散策したい。(2) ◇河川敷で犬と遊べると良い。 ◇ゴルフ場ではなく、誰もが気軽に利用できる河川敷であるべき。 ■水辺利用 ◇子供や大人が安全に泳いだり、魚とりをしたり、川遊びできるように。 ◇子供などが安全に環境学習や自然観察できる場があると良い。 ■河川敷のゴミ ◇河川敷や堤防道路の周辺がゴミできたない。対策を講じるべき。(6) ■河川敷へのアクセス ◇河川敷に下りにくい。安全かつ気軽に河川敷に下りられると良い。(2) ◇河川敷の駐車場が設置されていないため、車が汚れて困る。 ◇駐車する場所が無く、河川敷にも車で入りにくい。 車で川に行きやすくなると良い。 ■堤防道路 ◇堤防道路は危険なので交通制限をするべき。
文末の（数字）は意見数	

※コレカラボイスその2より

竜泉寺下流付近

中州や寄州が形成され、瀬が分布し変化のある流れをみせる。水際にはヤナギ群落やオギ群落などがみられ、竜泉寺裏の山林と一体となっている。

中流部

河川環境情報図　（区間図：25.2k～27.6k）

場所：勝川橋～上条グランド付近（24.6k～26.6k付近）

集約意見主旨

■治水対策
◇洪水・水害が不安、対策を施して、防止すべき。(2)
◇堤防の強度が心配、安全性を高めるべき。
◇流域全体や実川を見通した計画づくりを。

■水質
◇水が汚い、きれいな水になると良い。

■自然環境・生態系
◇ヨシ原を残してほしい。【松川橋～竜泉寺】

■景観
◇地域固有の風景を大切に。

■河川敷利用
◇河川敷で、憩い、遊び、スポーツ、バーベキューやキャンプなどのレクリエーションを楽しみたい。(5)
◇現在草が生い茂っている川辺が公園などの遊べる場になるとうれしい。(3)
◇川辺いを安全に、散策したい。(2)
◇河川敷で犬と遊べると良い。
◇ゴルフ場ではなく、誰もが気軽に利用できる河川敷であるべき。

■水辺利用
◇子供や大人が安全に泳いだり、魚とりをしたり、川遊びできるように。
◇子供などが安全に環境学習や自然観察できる場があると良い。

■河川敷のゴミ
◇河川敷や堤防道路の周辺がゴミできたない、対策を講じるべき。(6)

■河川敷へのアクセス
◇河川敷に下りにくい、安全かつ気軽に河川敷に下りられると良い。(2)
◇河川敷の駐車場が舗装されていないため、車が汚れて困る。
◇駐車する場所が無く、河川敷にも車で入りにくい。
車で川に行きやすくなると良い。

■堤防道路
◇堤防道路は危険なので交通制限をするべき。

文末の（数字）は意見数

※コレカラボイスその２より

竜泉寺下流付近

・瀬淵、砂礫地
・湿性草地
・竜泉寺の山林

竜泉寺下流付近

中州や寄州が形成され、瀬が分布し変化のある流れをみせる。水際にはヤナギ群落やオギ群落などがみられ、竜泉寺裏の山林と一体となっている。

凡例

＜河川整備計画＞
自然環境に配慮すべき箇所
景観に配慮すべき箇所

場所：勝川橋～上条グランド付近　（上条グランド26.6k～28.4k付近）

集約意見主旨

■治水対策
◇洪水・水害が心配、対策を施して、防止すべき。(10)
◇堤防の強度が心配、安全性を高めるべき。(4)

■水質
◇川が汚い、美しい川に。(3)

■景観
◇家屋敷周の景観をより良くすべき。

■河川敷利用
◇川辺いで安全に、憩い、散策したい。(4)
◇河川敷で、憩い、遊び、スポーツ、バーベキューやキャンプなどのレクリエーションを楽しみたい。(4)

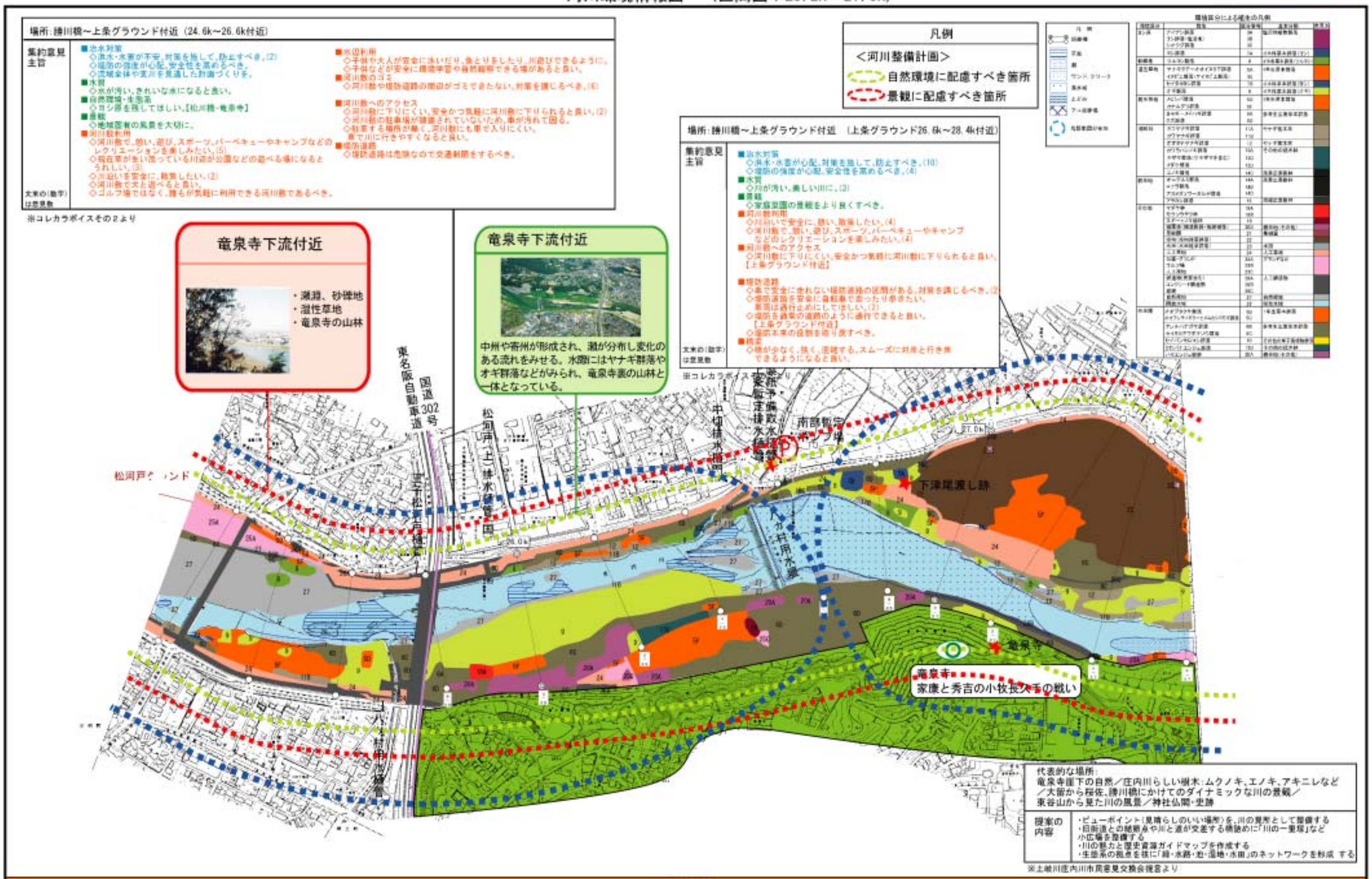
■河川敷へのアクセス
◇河川敷に下りにくい、安全かつ気軽に河川敷に下りられると良い。【上条グランド付近】

■堤防道路
◇車で安全にすれない堤防道路の区間がある。対策を講じるべき。(2)
◇堤防道路を安全に自転車で走ったり歩きたい。
車両は通行止めにしてほしい。(2)
◇堤防を通常の道路のように通行できると良い。
【上条グランド付近】
◇堤防本来の役割を守り続けるべき。

■橋梁
◇橋が少なく、狭く、老朽する。スムーズに対岸と行き来できるようになると良い。

文末の（数字）は意見数

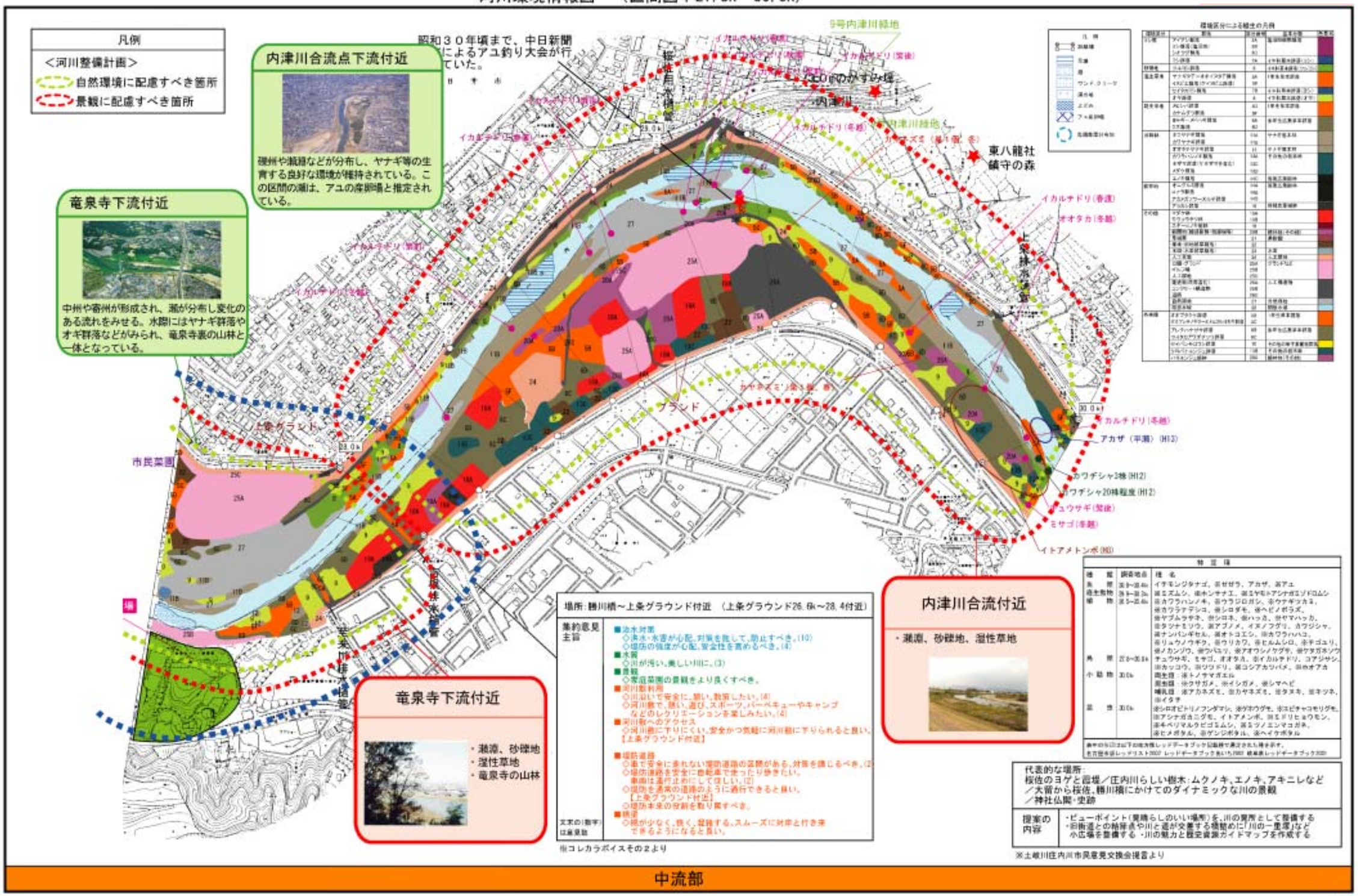
※コレカラボイス　より



代表的な場所：
竜泉寺崖下の自然／庄内川らしい樹木：ムクノキ、エノキ、アキニレなど／大留から桜佐、勝川橋にかけてのダイナミックな川の景観／東谷山から見た川の風景／神社仏閣・史跡

提案の内容
・ビューポイント（見晴らしのいい場所）を、川の見所として整備する
・旧街道との結節点や川と道が交差する機会めに「川の一里塚」など小広場を整備する
・川の魅力と歴史資源ガイドマップを作成する
・生態系の拠点を核に「緑・水路・岩・湿地・水面」のネットワークを形成 する

※土岐川庄内川市民意見交換会提言より

中流部

河川環境情報図　（区間図：27.8k～30.0k）